

3. ラオスの人口移動と出生力
4. マレーシアの経済発展と人口変動
5. 中国の国際人口移動

[第9部会]

1. 日本人口の地理的分布に関する歴史的考察
2. 近世上名栗村の養女に関する分析
3. 石見天領の人口変動
4. 『日本疾病史』データベース化の試み
5. 年齢別死亡率を用いた歴史人口遡及推計
6. 統計GISプラザについて

中川聡史 (神戸大学)  
 <座長>若林敬子 (東京農工大学)  
 高橋眞一 (神戸大学)  
 大塚友美 (日本大学)  
 早瀬保子 (元アジア経済研究所)

<座長>石南國 (城西大学)  
 鬼頭宏 (上智大学)  
 戸石七生 (東京大学)  
 廣嶋清志 (島根大学)  
 <座長>斎藤修 (一橋大学)

浜野潔 (関西大学)  
 林玲子 (政策研究大学院大学)  
 相田昇 (総務省統計局)  
 (加藤久和記)

## 日本中東学会第20回大会

日本中東学会(会長:小杉 泰・京都大学教授)の第20回大会(実行委員長:永田雄三・明治大学教授)が2004年5月8日(土)~9日(日)の2日間にわたって神田駿河台の明治大学リパティータワーで開かれた。初日の午後には公開講演会、アラブ音楽レクチャー・コンサート、総会が行われ、2日目には午前・午後とも5部会が設けられた。今回の公開講演会「<オリエンタリズム>再考」(講師:杉田英明・東京大学)、「サハラ日本人」(講師:小堀 巖・国連大学)はいずれも興味深いものであったが、人口には直接的な関係がなかった。他方、人口に関係する報告としては以下の4つがあった。

CHO, Hee Sun (韓国・明知大学校) "Islamic Family Law, Possibilities of Reform from a Women's Rights Perspective: A Study on Egyptian Intellectuals' Perception of the Family Law"

小島 宏 (国立社会保障・人口問題研究所) 「東南アジアにおけるイスラームと教育達成」

Ali EL-SHAZLY (Cairo University) and GOTO Yutaka (弘前大学) "An Attempt of GIS Analysis on Urban Development in the Edge of Greater Cairo"

大河原知樹 (東北大学) 「近代における移民運動とユダヤ教徒: イギリス・オスマン関係を中心として」

なお、来年の第21回大会は5月14~15日に大阪府吹田市の国立民族学博物館で開催される予定である。  
 (小島 宏記)

## 2004年度日本女性学会大会

本大会は、2004年6月12日と13日、鳥取県立倉吉未来中心で開催された。鳥取県の行政関連の方や